

ハローワーク岐阜 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○本年度は雇用保険受給者の（早期）再就職促進に重点を置き、次のような取り組みを行い、目標（2,345件）を上回る2,409件の就職につながりました

- ・初回認定日の雇用保険受給者について、確実に職業相談を行うこととし、早期再就職のメリットと次回職業相談日の予約を促す取組を年度初めから開始。
- ・認定日の簡易相談を希望する雇用保険受給者について、専用窓口でアンケート形式で短時間相談していた方法を改め、8月より通常の窓口での職業相談を行い職業紹介につなげる取り組みに見直し。

○また、求職者（雇用保険受給者を含む）の就職件数の目標（7,947件）を達成するため、次のような取組を行い、目標達成には至りませんでした（7,647件）が、年度後半の就職件数アップにつながりました。

- ・当所では平成27年度から、就職の可能性を高める策を講じて能動的な職業紹介を行う取組「仕掛けるマッチング」を重点施策として取り組んでおり、今年度においても「1担当者が1日1件以上仕掛けるマッチング」の目標を掲げ、就職件数アップの取組を徹底。
- ・雇用保険受給者のうち支給残日数が29日以下の者の認定日に、確実に職業相談を行うこととし、その後の再来相談を促す取組を11月から実施。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・新規のハローワーク利用者など窓口利用を戸惑っている求職者等に声をかけ、気軽に窓口を利用いただくために「コンシェルジュ窓口」を設け、プレ相談を行うことで、その後のハローワークの利用（窓口利用）を促す取組を7月からスタートし、コンシェルジュ窓口をきっかけに363人の方の窓口利用につながりました。
- ・また、これから就職活動を始めようとしている方を対象に、就職活動に向かうための意識向上・気持ちの整理を促す取組「就職活動マインドセミナー」を10月よりスタートし、参加求職者から自分を見つめ直すことができた、今後の就職活動の自信になった等、高評価をいただきました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ハローワークシステムが1月6日より更新され、求職者自らハローワークに出向かなくともインターネットを活用し求人情報の収集ができる環境が浸透する中、ハローワークに来所される利用者には担当者制によるきめ細やかな支援など来所ならではのサービスの充実を目指します。
- ・新型コロナウイルス感染の懸念からハローワーク窓口へ出向くことを控える方がみられる中、感染防止対策を講じたイベントやオンラインによる対応等工夫・検討し、そうした方のハローワーク利用促進を目指します。

(4) その他業務改善についての分析等

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化し、サービス業や製造業を中心とした事業所からの求人意欲が低下する中、こうした状況下においても採用意欲の高い、また業績の良い、元気のある事業所の正社員求人の確保に努めます。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化により、今後離職を余儀なくされる求職者が増加することが見込まれることから、当該求職者に対して、人手不足分野求人への誘導や上記で確保した求人の提案などを行い、需給調整機能の役割発揮に努めます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	公的職業訓練 終了3ヶ月 後の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	マザーズハ ローワーク事 業における 担当者制に よる就職支 援を受けた 重点支援対 象者の就職 率	人材不足分 野の就職件 数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	7,647	8,971	2,409	36.1%	46.7%	835	392	39;104	3,689	94.9%	1,809	387
目標	7,947	9,117	2,345	37.4%	47.9%	857	312	43,246	3,922	92.7%	1,621	206
目標達成率	96%	98%	102%	96%	97%	97%	125%	90%	94%	102%	111%	187%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大垣 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、雇用保険受給者の早期再就職件数を重点項目とし、特に給付制限期間中の早期再就職に結びつけるよう取り組みました。

具体的には、雇用保険受給者の認定日における全員相談の実施の機会をとらえ、補助指標である求人に対する紹介率、求職者に対する就職率も見据え、事業所訪問による求人票以上の情報収集や当該情報の提供を行いながら紹介につなげていくことを意識した職業相談・職業紹介を行ってきました。

また、給付制限のかかる受給者を対象に「4D マッチング」として求人情報の提供を積極的に行うことで、早期再就職の意欲を高め、ハローワークの継続的・定期的な利用を促してきました。

本取組による就職件数はわずかであったが、こうした地道な取組が後々のハローワークの利用による早期再就職件数に結びついたと考えます。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

総合評価によるハローワークの業務改善等の継続的な取組について、職員・相談員に再認識してもらうことも含め、特に専門相談員の配置が多い部門においては、職員・相談員一人一人の目標とする相談件数、紹介件数を提示し、当該目標の達成に向けた職業相談業務を行うことで、所全体の就職件数・充足件数等主要指標の目標達成につなげていくよう取り組みました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 求人者サービス

新システムへの移行及び新型コロナウイルスの影響で、前年度より30%ほど求人数、求人件数が減少しています。元年度の実績からも「求人担当者制と連動した求人充足会議」は一定の成果をあげており有効な手段であることから、充足件数を考えるのであれば、今後、求人数、求人件数を増加させることが課題となります。そのため、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、事業所訪問による開拓やFAXや電話による求人確保に努めていくことにしました。求人数の増加がそれほど見込めない場合でも、求職者が増加傾向にある中で求人へのニーズも多様化することから、充足可能性基準に合った求人を掘り起こし、充足に必要な支援策を検討しな

がら、職業相談部門と連携し充足（就職）に向けて取り組んでいきます。

また、令和元年度は毎週水曜日の午前中に求人充足会議を開催し、選定基準に合致する10件についてどのような支援策（①仕事内容欄等の補足記入を依頼、②求人条件の緩和指導、③求人者支援員によるマッチングを実施、④求人者に対し求職者情報の提供、⑤「今週の人気求人ベスト3」候補とする、⑥プラス2サービス対象求人とする（紹介部門へ回覧）、⑦ミニ企業説明会、事業所見学会の勧奨、⑧画像情報収集の対象とする）ができるかを検討し、求人充足に向けた取組を積極的に実施しました。

② 求職者サービス

雇用保険受給者早期再就職件数は、目標値1,244件に対し、実績1,460件で、年間を通して目標値を上回りました。給付制限中の者に対するマッチング求人の送付、来所相談勧奨が上手く機能したと考えています。今後は、新型コロナウイルス感染対策の中、安易に来所指示をすることができないが、引き続きマッチング求人等の情報提供を行うことで、早期就職意欲の喚起を促すし、早期再就職につなげていきます。

さらにプラスサービスを強化することで紹介率を高めるとともに、求職者担当制における対象求職者数の増加に努め、紹介率アップを図っていきます。

また、面接後不採用通知がきた求職者全員に、次なるマッチング求人の郵送提供を行っています。

令和2年3月末集計（把握できた者のみ）で、送付後57%が来所し、応募に至った者は48%、就職した者は32%と成果がみられるところであり、引き続き取り組んでいきます。

（4）その他業務運営についての分析等

新システムへの移行及び新型コロナウイルスの影響で、前年度より30%ほど求人数・求人件数が減少している一方で求職者が増加傾向にある中、求人へのニーズも多様化することから、どのような求人が必要かを分析しながら充足可能性基準に合った求人を掘り起こし、充足に必要な支援策を検討しながら、職業相談部門と連携し充足（就職）に向けて取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	マザーズハロー ワークにおける 担当者制による 支援を受けた重 点支援対象者 の就職率	正社員求人数	正社員 就職件数
実績	4,603	4,111	1,460	40.1%	51.1	365	283	91.6%	13,825	2,133
目標	4,703	4,286	1,244	41.2%	53.3%	399	420	92.7%	15,817	2,326
目標達成率	97%	95%	117%	97%	95%	91%	67%	98%	87%	91%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク多治見 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、主要指標の「就職件数」「充足件数」の目標達成に重点的に取り組みました。

求人者支援員の事業所訪問に紹介職員も同行し、求人条件の緩和も含め、事業所を実際に見学し、よく知ることで求職者への説明を具体的に行い、適正紹介に努めました。

求職者に独自アンケートを実施し、求職者が求人に対して求める項目を明らかにしました。それを元に求人者への助言を行い、求人票の充実を図っています。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

広い視野で労働行政を担っていく職員に向けて、研修項目も幅広く計画し、職員全員を受講対象として行いました。

法改正があった「同一労働同一賃金」についてその目的、対象など概要を学習しました。

また、紹介部門では外部の講師として岐阜県社会福祉協議会の方を招き、人材不足分野でもある、福祉・介護の仕事の実情を学習しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

各種情報掲示場所の見直しを行い、求人・求職・保険とエリアをわけ、わかりやすく掲示しました。

必要とする方に情報が届くよう意識し、掲示を行いました。

企業説明会について、外国人求職者の直接雇用を意識し、外国人向け企業説明会を開催しました。

管轄自治体で一番端に位置する瑞浪市の求職者及び自治体の要望に応えマザーズ出張相談を月2回定例化しました。

出張相談は、事前予約により実施していますが、予約で一杯になることが多いです。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人情報の充実を図ることで求人に対する紹介率、充足率につながるため、事業主へマイページの取得を促し、効果的な利用を勧めます。

求職者へのサービスに職務経歴書の下見、添削を行ってきましたが、さらに効果的な自己PRの仕方についてセミナーを開催する予定です。

(4) その他業務運営についての分析等

求人者支援員の事業所訪問時に紹介職員が同行し、求人事業所を見学する取組は、窓口の相談に大いに有効であると考え、今後も継続して取り組んでいきます。

様々な情報がインターネット検索でも確認できますが、訪問した職員の情報を共有し、就職支援に役立てていきたいと考えています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就職 件数	マザーズハロー ワークに事業に おける担当者制 による就職支援 を受けた重点支 援対象者の就 職率	正社員求人数	正社員就職件 数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職件 数
実績	4,021	3,994	1,424	36.3	50.4	292	95.6	15,678	1,795	132
目標	3,960	3,889	1,216	38.1	51.7	245	92.7	14,636	1,900	91
目標達成率	101%	102%	117%	95%	97%	119%	103%	107%	94%	145%

「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク高山 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所管内は、地理的状况から求人・求職の労働市場は単一であり、就職件数の増加が充足件数の増加につながると考え、就職件数の目標達成を最重点として取り組んだ。

来所を促す目的と自宅への情報提供を目的として、アタックと称した能動的マッチングによる郵送での求人情報提供を実施し、一人あたりの実施件数目標月20件を掲げ積極的に取り組んだ。結果、年間目標件数6,000件に対し実績7,894件実施し、目標以上の取り組みができた。

また、以前より当所では職種別認定日の設定を実施しており、職種別ミニ面接会の開催や職種別求人情報一覧の作成により効果的な情報提供を行った。特にミニ面接会の参加事業所から、求人者と求職者の接触の機会が増えたことで好評をいただいている。

さらに、管内が広域に亘ることから利便性を考慮し、高山市との一体的実施事業による市内9カ所での巡回相談、飛騨市との雇用対策協定による出張相談を実施し、各会場近隣の地域からの利用者もあり「利用しやすい、話しやすい」との評価をいただいた。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

多様なニーズに対応できるよう、まずは利用者の状況を把握する必要があることから、受理した求人票・求職票を求人担当・職業相談担当に全員回覧を行っている。

また、職業相談部門統括が各職員の職業相談コメントを確認し、必要に応じ助言を行うことで各職員の資質向上に努めた。

労働に関する制度・雇用保険制度・助成金制度など随時改正される内容を理解し、適切な支援が行えるよう所内研修を強化していく。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

令和元年度の新たな取り組みとしては、管内の企業の「魅力」「強み」等の情報を発信し求人票以上の情報が提供できる様に、また気軽な事業所見学を促すことで求人者と求職者の接触機会の創出を目的として「お仕事発見 事業所PRシート」の登録事業所を募り、当該シートを庁舎入口の目立つ場所へ掲示し事業所情報の発信・PRの場を設けたことで各企業より好評を得た。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

職種別認定日の認定時間を活用したミニ面接会について、会場の都合もあり1日2社の予約制で開催していたが、参加希望事業者が多いことに加え、当該認定日に設定している職種に関係なく申込みされる事業所が見受けられた。

また、振り分けた認定日毎の受給者の人数にも偏りが見受けられたことから、効果的な活用が図られるよう長年設定していた職種の振り分けの区分設定を見直すこととする。

(4) その他業務運営についての分析等

令和元年度2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止により当所管内の主要産業のひとつでもある観光業を中心に雇用情勢に大きな影響を受けた。その後、飲食業・小売業・製造業・その他幅広い業種に影響があり、求人数が大幅減少となった。

また、高山所が力を入れてきた来所勧奨を目的とした各種取組も自粛しなければいけない状況の中、システムの刷新により自宅でもハローワークと同様の求人情報が原則閲覧できる環境となった。

今後は、いかにハローワークを通じた紹介に繋げることが出来るか、ハローワークを利用するメリット等をどのように周知していくかなど工夫して取り組んでいく必要がある。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

令和元年度より取り組んだ「お仕事発見 事業所PRシート」への登録事業所に対し、マザーズコーナー利用者を対象に集团の見学会を企画し実施した。

1回の見学会で5名程度の参加者を募り、マザーズコーナー担当職員同行のもと事業所見学を実施することとし、当該年度は3事業所で計5回の実施により参加求職者・見学先事業所双方より好評を得た。

地方自治体との連携では、高山市との一体的事業により高山市役所内にワークサロンたかやまを常設し、ワンストップでの就労支援の実施および市内9カ所での巡回相談の実施、飛騨市との雇用対策協定では月1回の出張相談およびひとり親全力サポートキャンペーンによる出張ハローワークを2会場開設し、各事業に自治体の協力を得て実施した。また、高山市・飛騨市との共催等により年間5回の就職面接会を実施し参加求職者および参加事業所より好評を得た。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職 率	正社員 求人数	正社員 就職件数	
実績	2,299件	2,061件	526件	35.6%	55.3%	175件	98.9%	5,189件	874件	
目標	2,175件	2,131件	544件	39.8%	57.8%	187件	92.7%	5,487件	943件	
目標達成率	105%	96%	96%	89%	95%	93%	106%	94%	92%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク恵那 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は「45歳未満の求職者」と「45歳以上の求職者」の比率がほぼ1：1であること、及び「45歳未満の求職者」の在職率が高いことが特徴である。よって就職件数の目標を達成するためには、在職率の低い高齢者に対する支援及び雇用保険受給者に対する支援を最優先の取組として進めた。

高齢者の就職件数の増加を図るためには、高齢者が応募しやすい求人を多く確保することが必要であることから、年齢条件を「60歳以上」とした求人を積極的に開拓した。特に求人充足会議においては「仕事の内容」から、高齢者でも対応が可能と思われる「生産工程の職種」の求人について、求人者に対して年齢条件を「60歳以上」として募集することを積極的に提案するとともに、当所にて開催している「ミニ企業説明会」への参加を勧奨した。

雇用保険受給者に対しては、失業の認定日の前日までに求人情報の提供を行うとともに、失業の認定日当日の職業相談の際に求人の積極的な提案を行い職業紹介に繋げた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

システム刷新により、来所者端末の不慣れな利用者に対して積極的に「声かけ」を行うとともに、職業相談窓口の利用を勧奨した。

来所者にはハローワークを心地よく利用していただくため、常に業務室内の「整理整頓」を心がけるとともに、美観を損なうことがないよう職員全員で目配りを心がけた。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

在職中の求職者が就職した場合は、就職した企業では「人手不足の解消」となるものの、もう一方では新たな「人手不足の発生」が生ずることとなる。60歳以上の高齢者の在職率は10%にも満たないことから、今後も引き続き年齢条件を「60歳以上」とした求人を積極的に開拓し高齢者の選択肢を増やすとともに充足に繋がる取組を積極的に進めていく。

併せて、システム刷新により設けられた「求職者マイページ」について、ハローワークを利用する求職者に「求職者マイページ」を開設するよう積極的に勧奨する。

(4) その他業務運営についての分析等

システム刷新等の内部事務処理等の影響により新規求人が大幅に減少したものの、一過性のものであったことから有効求人数への影響はさほど大きくはなかった。

2月及び3月は新型コロナウイルス感染症の影響が出始めたことから、来所者が大幅に減少し紹介件数及び就職件数に大きな影響が生じた。(紹介件数及び就職件数が大幅に減少)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の更なる影響により雇用調整助成金の相談件数が増加し始めたことから、所内の業務体制の見直しが必要となった。

恵那市との雇用対策協定に基づきハローワークが年齢条件「60歳以上」の求人を集約した求人情報を「くらしビジネスサポートセンター」に提供し「くらしビジネスサポートセンター」は、その情報を元に無料の企業コンサルティング及びミニ企業説明会を企画する取り組みは、ハローワークはミニ面接会の会場提供及び求職者への周知広報を行うことで効果的な展開及び連携を図ることができていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2月以降、中止を余儀なくされている。

今後、重点的に取り組む予定であった高齢者を対象とした年齢条件が「60歳以上」の求人予定通り確保することができるか課題となっている。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

雇用調整助成金の相談件数等が増加し当該助成金関係業務の運営を最優先しなければならないことから、多くの事業等を行わないこと及び見直すことを余儀なくされた。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数		
実績	869	692	169	32.3%	57.2%	64	1,918	393		
目標	866	668	183	32.4%	58.9%	52	1,951	388		
目標達成率	100%	103%	92%	99%	97%	123%	98%	101%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク関 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、求職者担当制や提案求人ストック10などの取組を行いました。

特に提案求人ストック10については、「おすすり求人」を常時、手元に10件以上ストックして相談時にプラスサービスを実施しました。

福祉人材コーディネーターが新たに配置されたことにより、福祉人材確保に力を入れ、企業訪問、介護就職ディに提供する情報を見やすく工夫するなど「介護就職ディ」の充実を図り、参加後の企業からの要望等についての検証も行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員育成を図る観点から、職業紹介関係の研修を実施し、職業紹介技法等の知識習得を図りました。

また、労働基準法、働き方改革について、監督署職員を講師に招き研修を実施し、職員の資質向上を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

カウンター増設により職業相談窓口および雇用保険窓口をそれぞれ増やし、待ち時間の緩和を図りました。

システム刷新により求人検索機の操作が上手くできない方を積極的に相談窓口へ誘導し、継続的に職業相談を行いました。

福祉人材分野企業説明会の周知について、地元新聞社に掲載依頼し、新聞掲載で広く周知を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、求人数の大幅な減少で就職件数の落ち込みが避けられない中、職業相談件数を増やすことで、各目標数値アップに繋がると考え、求人検索機利用者や、総合受付来所者の相談窓口への取り込みを積極的に行った。また、離職者が急増した場合は、認定日における認定官の職業相談も実施と「提案求人ストック10」により求人票の提供に力を入れ、後日、検討の上来所を依頼します。

(4) その他業務運営についての分析等

システム刷新により、求人票の求人項目の増加や求職申込書の求職項目の増加、求人、求職の入力項目の増加により対応や処理に手間取り、本来の求人内容の聞き取りや職業相談時間が充分に取れませんでした。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者就職 件数	学卒ジョブ 正社員 就職件数	正社員求人数	正社員就職 件数	
実績	2,281	2,099	530	40.9%	53.0%	186	236	6,190	1,080	
目標	2,302	2,180	530	43.0%	54.6%	194	240	6,696	1,110	
目標達成率	99%	96%	100%	95%	97%	95%	98%	92%	97%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク美濃加茂 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、令和元年度の新規求職者数が7年ぶりに増加に転じている中、「就職件数」「充足件数」の目標達成を最重要と考え取組みを行いました。

特に窓口相談を受けられた求職者の方には、平成26年度から実施している当所独自の「仕掛けるマッチング」と称した能動的マッチングを、職業紹介部門全員が必ず「2回に1回は仕掛けるマッチングを実施する。」という共通認識を目標に掲げ、より多くの実施に努めました。

その結果、令和元年度の「就職件数」は1,605件で目標をわずかに下回ったものの、「仕掛けるマッチングによる紹介就職件数」は前年度を上回り、かつ、紹介成功率も向上しており、次年度も効果的な取組みとして継続していきます。

また、地元企業への支援策としては、求人票以上の事業所情報の提供サービスに心掛け、以前から開催している「介護就職デイ」、「介護の職場見学会」、「ミニ面接会」、「正社員面接会」を実施し、「事業所PRボード」による所内での周知強化を図るとともに、職員による事前の企業見学会も7回実施することで充足に結びつく独自の工夫を加えました。

その結果、令和元年度の「充足件数」は1,355件で目標をわずかに下回ったものの、事業所からは好評をいただいております。こちらについても次年度も効果的な取組みとして継続していきます。

さらに、地方公共団体及び地域の商工団体等との連携にも積極的に取組み、常日頃からの日常的な「顔の見える関係」を礎に、「白川町・白川町商工会との連携協定に基づく月1回の出張相談」、「みのかもジョブフェアの開催（3回）」、「美濃加茂市との連携協定集結に基づく、みのかも女性活躍支援センター〔リオラ〕での月1回の出張相談」等、様々な連携を実施することにより、地域におけるハローワークの存在意義を高めることができたと考えています。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、グループ別での「履歴書・職務経歴書の書き方」研修の他、「システム刷新」研修、「就職氷河期世代に対する就職支援」研修など、全職員が当面の重点事項を把握できるよう職員の資質の向上に努めました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成に向けては、雇用保険受給資格者証に個々の再就職手当の支給金額シュミレーションシール「★早めの就職で再就職手当をGet★」を貼り、早期再就職への意欲喚起を強化することができ、結果として目標を上回ることができました。また、求人票以上の事業所情報の提供については、「事業所PRボード」による所内での周知強化だけではなく、事業所訪問により収集した「地元企業の動画」をデジタルサイネージにより待合室内で放映するといった独自の工夫を加えることで更なるサービスの向上に努めました。さらに、地域にハローワークの存在を積極的にアピールし潜在求職者の開拓を図るため、新たに夏休み特別企画として「親子職場見学会」を実施。お菓子の試食や車いす体験等を取り入れ参加しやすい内容として、将来の労働力となる子供向けには「共働き世帯はどれくらいあるのか」を紙芝居風に説明することで、参加者からは、地元の仕事を知るとともに「働くこと」について考える機会を得ることができたと大変好評な意見をいただくことができました。開催回数は2回 参加者数は44名（うち子供24名）

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

システム刷新後の職業相談業務の更なる充実を重点項目と捉え、求職者担当制による支援の強化に取り組むため、対象者数及び就職件数を増加させたいと実施していきます。

また、当所管内は人口減少が著しい地域を多く抱えており、U・Iターンや移住に関わる施策でハローワークへの期待が高いことから、全国ネットワークの強みを有効に活用した連携（白川町・白川町商工会との連携協定に基づく月1回の出張相談、美濃加茂市との連携協定に基づくみのかも女性活躍支援センター [リオラ] での月1回の出張相談）を引き続き取り組んでいきます。

(4) その他業務運営についての分析等

管内人口における外国人の占める割合が多く、派遣等の非正規就労者も多い中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から離職者は増加傾向であり、外国人対策は重要な要素となっている。

このため、製造業での雇用情勢とともに外国人労働者の動向に注視していきながら、地方公共団体等との連携強化を図っているところです。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	仕掛ける マッチング 件数		
実績	1,605	1,355	509	38.5%	49.8%	5,071	786	1,223		
目標	1,634	1,363	476	42.3%	54.8%	5,155	812	1,018		
目標達成率	98%	99%	106%	91%	90%	98%	96%	120%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク中津川 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

平成31年度は有効求職者が徐々に増加し、有効求人が減少していく中で、特に求職者支援に重点を置き「正社員就職件数」の目標達成のため、求職者担当制を推進し、担当する求職者の求職票の記載内容の充実を進め、履歴書及び職務経歴書の添削、面接に際しての助言・指導を行ったうえで、希望求人の郵送による情報提供等を行うなど、正社員就職につながる支援を行った。

また、担当する求職者の希望職種 of 正社員求人の質の向上及び記載内容の充実を図るため、求人充足会議の対象求人を求職者担当が選定し検討を行い、事業主への働きかけを行うことにより、求人条件等と求職者の希望等のミスマッチの解消を図ったうえで求職者に情報提供するなどマッチングを進めた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者の満足度向上のため、担当業務を超えてハローワークの業務全般を知るための研修を充実し、ハローワーク所内においてできる限りワンストップでサービスできるよう資質向上を図った。

（3）その他業務運営についての分析等

中津川市との雇用対策協定に基づき、2027年開業予定のリニア中央新幹線の中部総合車両基地の設置に向け、大学等の進学のため管外へ移転する生徒に対し管内企業の魅力を発信する場として高校2年生を対象とした管内企業説明会を授業のカリキュラムに組み込み実施した。今後とも、中津川市の企業の魅力を学生に発信し、長期雇用戦略に基づいた取組が重要と思料する。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	⑤ 公的職業訓 練終了3ヶ月以 内の就職件数	⑦ 正社員求人 数	⑧ 正社員就職 件数	所で選択 して記載	所で選択 して記載
実績	1,227	1,138	235	35.3%	59.8%	21	3,260	538		
目標	1,163	1,140	258	37.8%	59.8%	20	3,222	518		
目標達成率	105%	99%	91%	93%	100%	105%	101%	103%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率